

**NEC未来創造会議**大阪大学共創機構「未来社会共創コンソーシアム」×NEC未来創造会議分科会（2/9開催）  
**トランスサイエンスの視点でエクスペリエンスネットを紐解く**

2017年からスタートした**NEC未来創造会議**では、人の能力をAIが超えると言われるシンギュラリティ後の2050年に“人が生きる、豊かに生きる”社会を構想し、「**意志共鳴型社会**」というコンセプトを導出しました。一人ひとりが自分の可能性に気づき、時空間を超えて集まった仲間と共に小さな挑戦をし、それぞれの小さな挑戦が連動し合うことで大きな未来を創造する社会です。インターネットを通じて世界中の人たちとつながることができるようになりましたが、フィルターバブルと言われるように自分が好む情報にしか触れない、誹謗中傷を通じて分断が生じているなど、真の意味で分かち合えてはいないのではないのでしょうか？時空間を超えて世界中の人たちが共感・共鳴しあうには**文脈（コンテキスト）のレベルでの相互理解・相互信頼**が大切であり、そのためには**体験をベースとした新しいネットワーク「エクスペリエンスネット」**が必要だと考えています。

今回、エクスペリエンスネットに必要なとされる要素を導くために、**大阪大学共創機構「未来社会共創コンソーシアム」**のご協力を得て、**トランスサイエンス**と称されますが、**科学技術だけでは解決できない領域**にもアプローチすべく、**人文社会科学に精通した大阪大学の3名の先生との分科会**を実施します。

**イベント日時と申し込み方法**

NEC未来創造会議分科会「トランスサイエンスの視点でエクスペリエンスネットを紐解く」

【日時】2021年2月9日（火）10:00-11:30、13:00-14:30、16:00-17:30

【視聴方法】zoomウェビナー

【人数】先着100名

【問合せ】NEC未来創造会議事務局 岡本克彦 katuhiko@nec.com

【申込み】<https://forms.gle/Dk3MYqvqZDbx98c77>**当日のタイムテーブル** ※一部の参加でもO.K.です10:00-11:30 **美しさを感じる心的メカニズムとエクスペリエンスネット**大阪大学 医学系研究科 **内藤智之先生**13:00-14:30 **人の潜在能力を引き出すインタラクションとエクスペリエンスネット**大阪大学 人間科学研究科 **三浦麻子先生**16:00-17:30 **人と人の深いかかわり（共感・共鳴・信頼）とエクスペリエンスネット**大阪大学 人間科学研究科 **千葉泉先生****ゲスト、及び、クロストークのパネラー** ※経歴などの詳細は次ページ

大阪大学

内藤智之先生  
(医学系研究科)三浦麻子先生  
(人間科学研究科)千葉泉先生  
(人間科学研究科)

NEC未来創造会議

NECフェロー 江村克己（一番右）  
未来創造プロジェクト  
左から 山田哲寛・小出俊夫・青木勝

## 大阪大学 医学系研究科

**内藤智之先生**

大阪大学大学院医学系研究科 講師。

脳情報通信融合研究センター協力研究員。

京都大学大学院文学研究科博士過程終了 博士（文学）、学術振興会特別研究員PD、大阪大学医学部助手、大阪大学大学院医学系研究科助教を経て現職。

専門は認知心理学、視覚神経生理学、深層学習。現在は人工知能への芸術感性移植研究および人の美的感覚に関する知覚・認知メカニズム研究に取り組んでいる。



## 大阪大学 人間科学研究科

**三浦麻子先生**

大阪大学 大学院人間科学研究科 教授。社会心理学者。

1995年大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程中退。神戸学院大学、関西学院大学等を経て2019年より現職。コミュニケーションが新しい「何か」を生み出すメカニズムの解明に関心を寄せる。コロナ禍での人の行動解析も積極的に行い精力的に発信中。博士（人間科学）。



## 大阪大学 人間科学研究科

**千葉泉先生**

大阪大学大学院・人間科学科（共生学系）教授で、ラテンアメリカ音楽演奏家・作曲家。専攻はラテンアメリカ地域研究と、その実践的応用。ギターを携え、現地文化の諸相を研究するほか、音楽を使ったコミュニケーション、「自分らしさ活用」などのテーマにも取り組む。また、「語り合い」、「ウクレレによる自己表現」など、学生の積極的な参加と協働に依拠した授業を編み出し、実践している。

その一方で、演奏家として、ラテンアメリカ各地の弦楽器や歌謡の紹介に努めるとともに、「共生」や「自分らしさ」をテーマとするオリジナル曲を創作し、大学内外のさまざまな場で発表している。

NEC未来創造会議 (<https://future.nec/>)**NECフェロー 江村克己**

1982年光通信技術の研究者としてNECへ入社。製品企画部門での経験やNEC知財部門のトップを経て、2010年に中央研究所を担当する執行役員へ就任。取締役執行役員常務兼NECの技術部門を統括するCTO（チーフテクノロジーオフィサー）を担い、2019年4月から取締役NECフェロー就任、同年6月からNECフェロー。

1987-1988米国Bellcore客員研究員。工学博士（東大）。東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。

